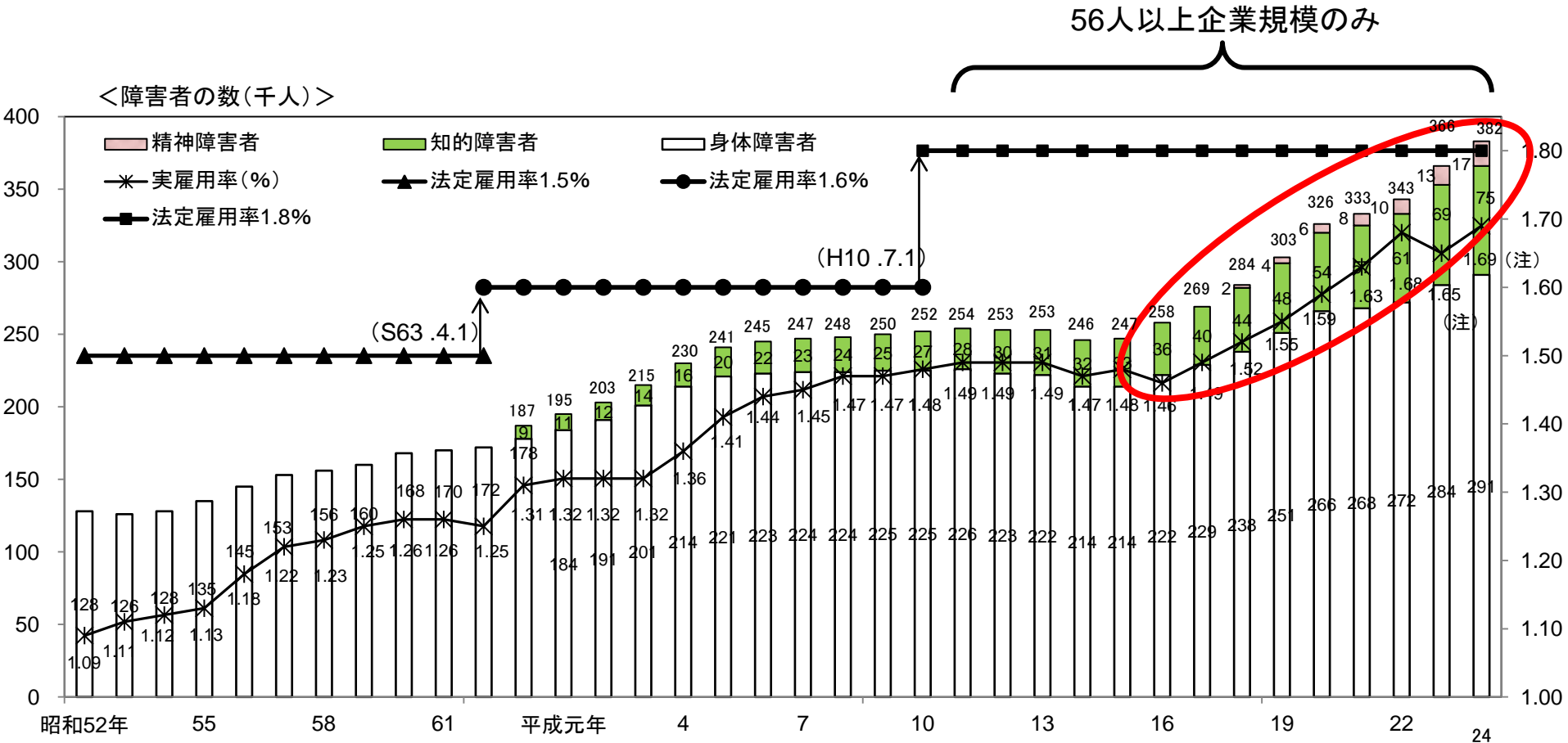


近年の障害者雇用の状況

- 民間企業の雇用状況 **実雇用率 1.69%** **法定雇用率達成企業割合 46.8%**
- 法定雇用率には届かないものの、**雇用者数は9年連続で過去最高**。障害者雇用は着実に進展。



(注)平成22年度の改正前の制度に基づいて実雇用率を推計した場合、平成23年度は1.75%、平成24年度は1.79%である。

障害種別の障害者雇用の状況

- 身体障害者、知的障害者、精神障害者のいずれも雇用者が増加。
- 特に精神障害者が大きく増加。

	平成23年	平成24年	増減	
障害者数 (人)	366,199.0	382,363.5	+16,164.5	4.4%
身体障害者	284,428.0	291,013.5	+6,585.5	<u>2.3%</u>
知的障害者	68,747.0	74,743.0	+5,996.0	<u>8.7%</u>
精神障害者	13,024.0	16,607.0	+3,583.0	27.5%
実雇用率 (%)	1.65	1.69	+0.04pt	—

企業数	75,313	76,308	+995	1.3%
達成企業数	34,102	35,694	+1,592	4.7%
達成企業割合 (%)	45.3%	46.8%	+1.5pt	—

公的機関の障害者雇用状況(平成24年6月1日現在)

○ 民間企業に率先垂範する立場にも関わらず、**都道府県教育委員会に未達成機関**が多数。

(%)

		法定雇用率(※)	実雇用率	雇用率達成割合
国		2.1	2.31	100(39/39機関)
	厚生労働省	〃	2.57	—
都道府県	知事部局	2.1	2.46	100(47/47)
	その他の機関		2.32	89.8(97/108)
市町村		2.1	2.25	86.4(1,998/2,312)
教育委員会	都道府県	2.0	1.88	51.1(24/47)
	市町村		1.87	82.4(61/74)

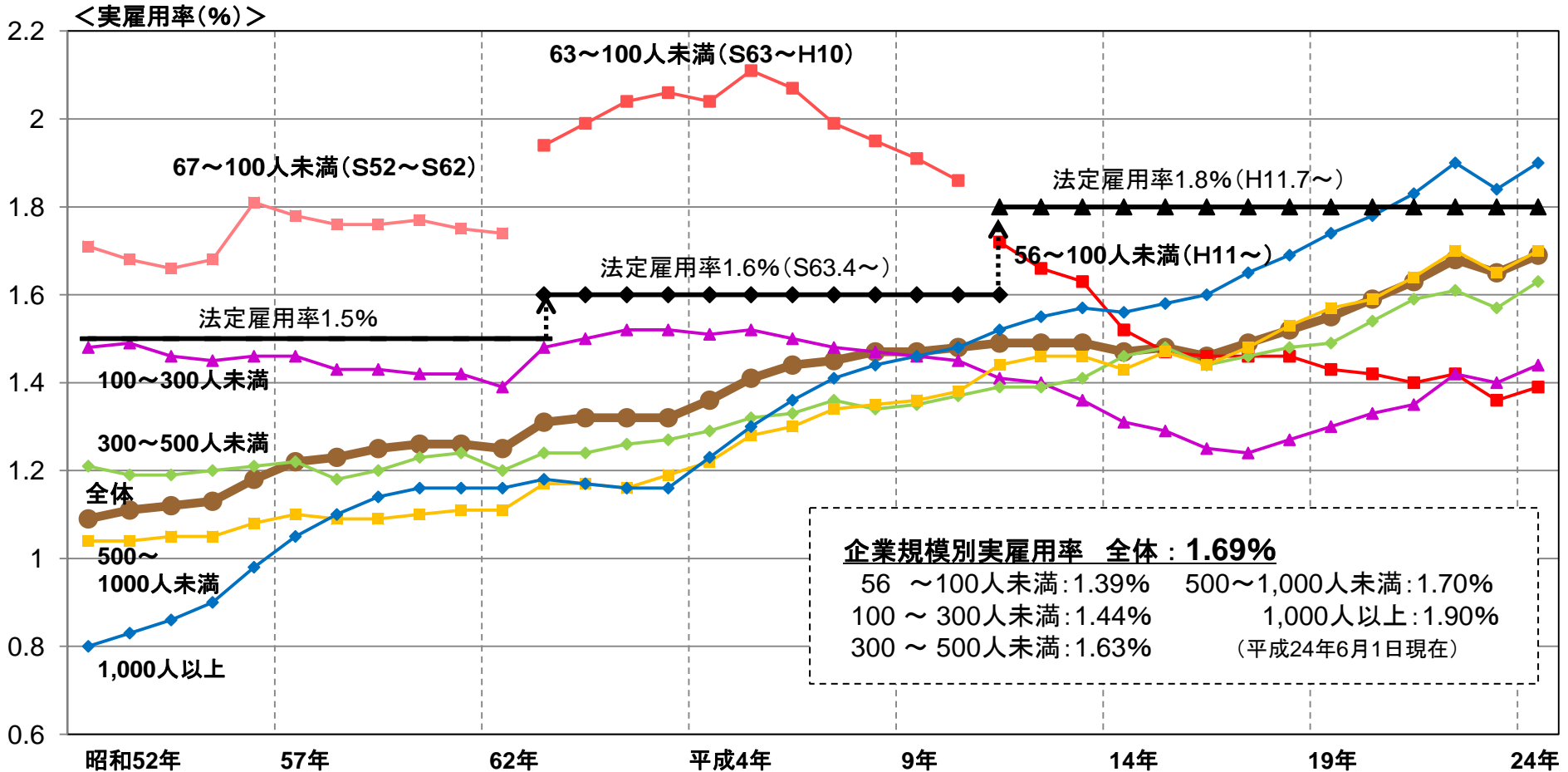
※ 平成25年4月1日から、国・都道府県・市町村は2.3%、教育委員会は2.2%に改正

(参考) 国の機関における障害種別の障害者雇用の状況

		平成23年	平成24年	増減	
障害者数	(人)	6,869.0	7,105.0	+236	3.4%
	身体障害者	6,413.0	6,527.5	+114.5	1.8%
	知的障害者	223.5	268.5	+45	20.1%
	精神障害者	232.5	309.0	+76.5	32.9%

企業規模別の障害者雇用状況

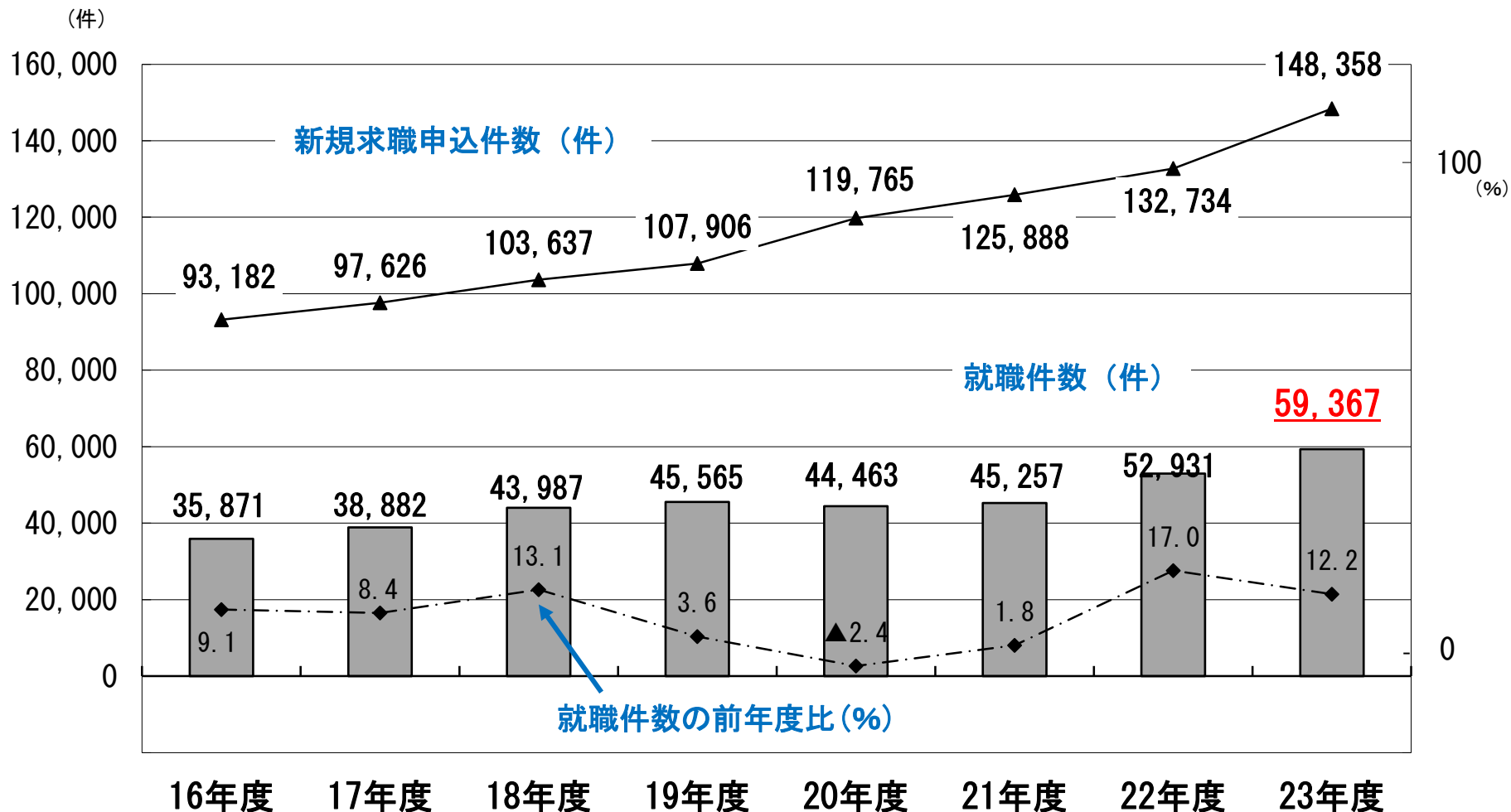
- 平成9年以前は、300人未満の中小企業が平均を上回って推移。特に、100人未満が牽引。
- 平成10年以後は、1000人以上の大企業が平均を上回って推移。逆に、100人未満、100～300人未満の取組に遅れ。



(注) 雇用義務のある56人以上(※)規模の企業の集計 ※昭和52年～昭和62年までは67人以上、昭和63年～平成10年までは63人以上

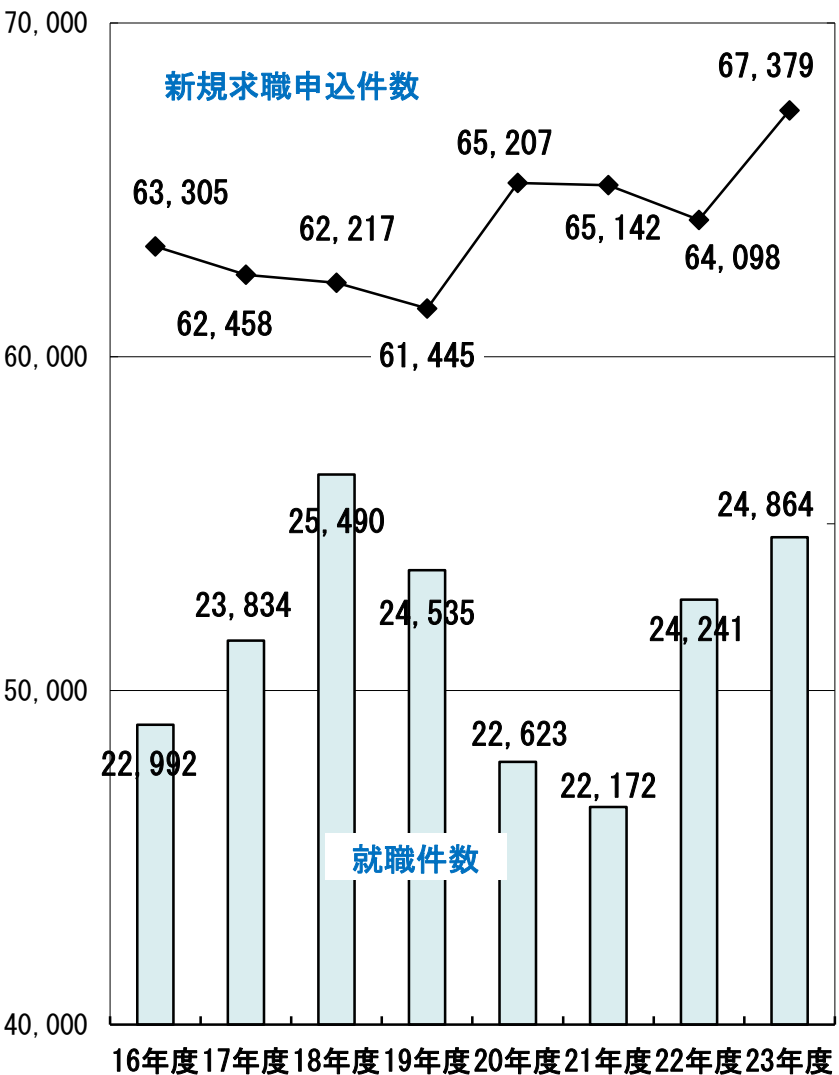
ハローワークにおける障害者の職業紹介状況

- 平成23年度の就職件数・新規求職者数は、**前年度から更に増加**。
- 特に、就職件数は**約6万件となり、過去最高を更新**。

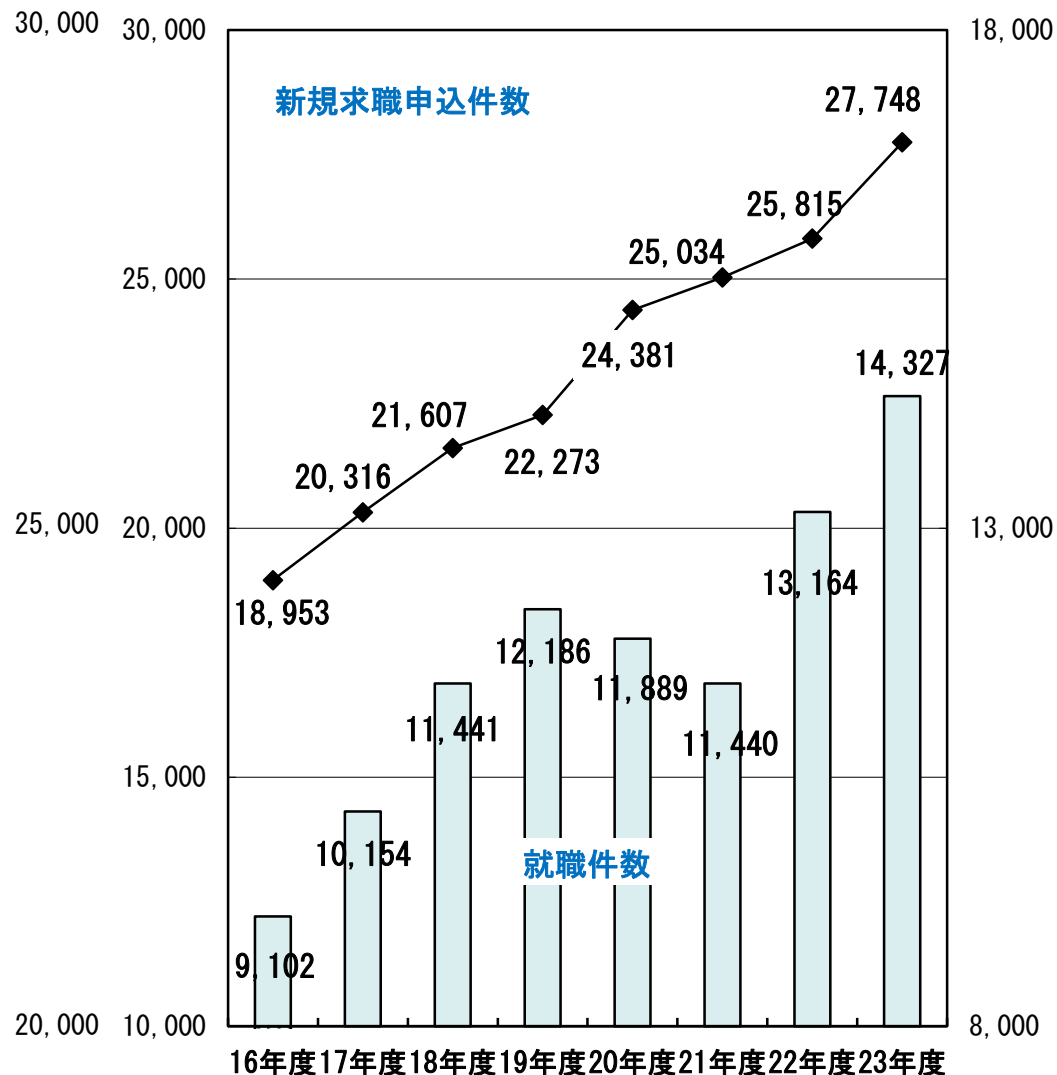


ハローワークにおける障害種別の職業紹介状況①

身体障害者

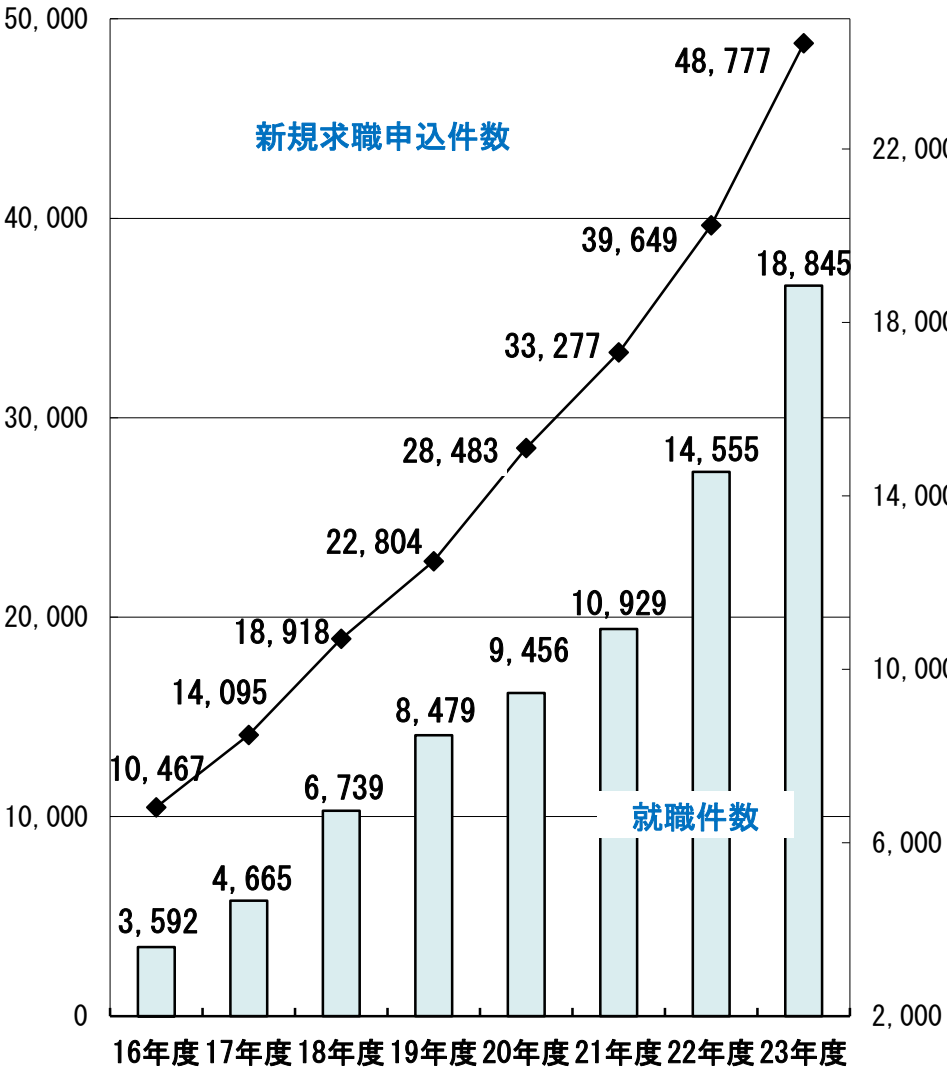


知的障害者



ハローワークにおける障害種別の職業紹介状況②

精神障害者



その他

(発達障害、高次脳機能障害、難病など)

